令和 5 年度第 4 回全国健康保険協会大分支部評議会 議事録

開 催 日 : 令和 6 年 1 月 17 日(水) 10:00~11:30

場 所 : コンパルホール 3 階 「305 会議室」

出席評議員 : 阿部評議員、鹿嶋評議員、金崎評議員、河野評議員、川野評議員、
草野評議員、神評議員
(五十音順)
評議員 9 名中 7 名出席

I 議 題

1. 令和 6 年度都道府県単位保険料率について
2. 令和 6 年度大分支部事業計画(案)及び支部保険者機能強化予算(案)について

II 議 事 概 要(主な意見等)

議題 1. 令和 6 年度都道府県単位保険料率について

<事務局>

資料に基づき説明を行った。

[学識経験者]

加入者の受診行動が反映された結果となっているが、大分県は医療体制が充実しているため病院に行きやすいという環境が影響していると思われる。世の中は物価・コストが上昇している中、保険料率がどんどん上がるというのは大分県民にとって辛いことである。県民に現状を知ってもらい、医療費を抑制するために行動変容を促すような広報の徹底が必要である。

[被保険者代表]

保険料率については已むなしと考える。これだけ保険料率が上がり負担が増えてくると、医療の在り方や健康の在り方を考えなければならないと思う。マスコミ等への発信方法等に、より留意して健康面の広報を行っていただきたい。

[被保険者代表]

保険料率については已むを得ないと思うが、給料があまり上がらない中、保険料率だけが上がり負担が増えるため、いつまでも已むを得ないで終わらせてはいけないと考える。注目度が高いマスコミ等を活用し、保険料率の在り方や負担などの影響について知ってもらい、関心を高めるような広報が必要であると思う。

[事業主代表]

機密性 2

全国一律に戻してほしいと声高く言い続けてきたが何も議論されず変わっていない。物価高騰にある中、会社は給与を上げなければ人材が集まらず経営が困難となるため、無理をしても給与を上げている状況にある。また、給与を上げた場合には、上がった分に対して保険料も上乘せして負担増となるのは厳しい。相互扶助の観点から平等であってほしいと考える。

〔事業主代表〕

保険料率については特に意見はない。保険料率決定の在り方については、今後の医療費や賃金の伸びが予測しづらく、加えてその他の要素による費用が増えるかもしれないという中、収支見込みのシミュレーションは立てづらいと思うが、保険料率を決めるにあたっては要となるので、実態と大きな乖離が無いようにしていただきたい。

〔学識経験者〕

保険料率については、特に意見はなく受け止める。保険料率が 10%を超えているというのは負担感として重荷になっている。地域間で 1%の開きがあることに対しては、何らかの措置が必要であると思われ、地域間の医療費の較差は努力によって縮まるものなのか考える必要がある。地域間の較差をなくしていくことが重要であり、保険料率は単一であることが望ましく、全国一律ないし地域間較差を縮小する方向で検討いただきたい。

〔学識経験者〕

保険料率については、意見はない。保険料率 10%が限界といわれる中、実際には 10%を大きく上回る地域もあることから、最高・最低料率の較差是正のために上限下限を設定するなど制度の見直しを検討すべきである。

〔事業主代表〕

全国一律の保険料率、地域間較差の是正、国庫補助率の引上げ等の意見に対し、本部から回答や考え方は示されているのか。

<事務局>

国庫補助率については厚労省に対して毎年申し入れをしているところであり、そのほか評議会意見についても伝えているという報告はあっている。運営委員会や評議会が出た意見への対応について疑問に思われる部分も理解できるため、今後、様々な機会を通じて意見をしていきたい。

〔事業主代表〕

本部が評議会等の意見を踏まえて方針を示されなければ、これから先も同じような意見しか出ず、議論が進展しないのではないかと。全ての意見への回答は要らないので、多くの支

機密性 2

部から出ている意見に対して本部から示された回答に対し議論を深めていくべきである。

[学識経験者]

本部から年に 1 回でも WEB 等で支部評議会に参加してもらい、意見を聞いていただける場があるとありがたい。

<事務局>

支部長会議やブロック会議等で運営委員会や評議会の在り方等について問題提起をしていきたい。

議題 2. 令和 6 年度大分支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

<事務局>

資料に基づき説明を行った。

[事業主代表]

SNS 動画は良い出来である。全国にも糖尿病啓発など同じような悩みがあると思われるので、本部で制作し支部に展開する方が予算も少なく済むのではないか。

<事務局>

共通の広報素材として本部作成のユーチューブチャンネルがあり全国共通で使える動画は配信されている。今回の動画については支部の医療費分析等を踏まえ、支部予算で支部の独自性を出しながら制作したものである。また、この動画については、全国展開ができるように本部へ事業報告を行う予定である。

[事業主代表]

予算特別枠の新規事業は、ある程度の期間を設けて実施することで効果が出ると思われるが、予算特別枠は複数年とすることはできるのか。

<事務局>

予算特別枠を複数年にできないわけではないが、継続して実施する場合、事業内容や費用対効果を検証する必要がある、効果測定等に要する時期等を考慮すると基本的には、単年度という印象がある。

[学識経験者]

糖尿病啓発 SNS 広報のターゲット世代はどの年代か。また、健康機器レンタルはどのような測定器でどのように広報していく予定か。

機密性 2

<事務局>

支部における医療費分析の結果を踏まえ 20～40 代としている。健康機器レンタルについては「血管年齢測定」、「骨健康度測定器」などを考えており、主に健康宣言事業所に各種広報媒体を使った広報及び訪問により展開を図る予定である。

[被保険者代表]

健康教育等で SNS 動画を活用するなど、広く周知をしていただきたい。

[被保険者代表]

小学生とその保護者への健康教育はどのように実施したか。

<事務局>

今年度については、東部保健所の地域・職域連携推進会議の中で課題を共有し、小児肥満が多い傾向にあるという別府市の実態を踏まえ、協会主導により別府市内の小学 1 年生～3 年生とその保護者を対象に食生活・野菜摂取の重要性を啓発するための取り組みを企画し、参加枠 15 組として各小学校へ参加募集を行い、別府市・東部保健所と連携して実施した。

以 上